議会だより

2015.11
Vol.48

ふじかわぐちこ

西浜中“双龍太鼓は永遠に!”

●議長就任あいさつ……2P
●議会改革……3P
●こういうことを決めました……4P
●委員会レポート……8P
●一般質問……11P
●委員会構成……13P
●窓・編集後記……14P

議長・副議長 就任

平成27年第3回議会定例会、本会議において議長選挙が行われ、第14代議長に梶原武議員が当選し、副議長に渡辺美雄議員が就任しました。

議長

梶原　武氏

議長就任あいさつ

富士河口湖町議会 議長　梶原　武

このたび、平成27年第3回富士河口湖町議会定例会におきまして、議員の皆様の推挙をいただき、議長に就任させていただくことになりました。

誠に身の余る光栄であり、感謝申し上げます。

もとより浅学菲才の私ですが、中立、公平無私の立場で職務にあたる決意でございます。

さて、今年度は、地方創生元年だと言われています。国が補助金の雨を降らせるのではなく、私達の街をこうしたいと計画した「総合戦略」を策定し、それに対して国は予算、人的サポートをする地方を主役にする初めての取り組みです。

私ども議員も町民代表であることを常に自覚し、町執行部と共に知恵と汗をかき、世界に誇れる世界遺産である富士山のある富士河口湖町の発展に努力してまいりたいと思います。

町民の皆様のご指導とご協力をお願い申し上げ就任の挨拶とさせていただきます。

副議長

渡辺美雄氏

富士河口湖町議会改革

議会改革推進特別委員会

富士河口湖町議会では、住民の皆様に議会活動へ参加してもらうなどの議会改革推進を図るため、議会を3つの班にわけて各種団体との意見交換会を開催し、皆様の意見を町政に反映させようということになりました。

今までに、第1班及び第3班が次のとおり意見交換会を開催しました。

班		第3班	第1班
開催日時		平成27年7月30日(木) 10時30分～	平成27年8月26日(水) 10時00分～
開催場所		富士河口湖町中央公民館 2階　視聴覚室	富士河口湖町河口湖商工会 2階　研修室
参加団体		富士河口湖町女性団体連絡協議会	河口湖商工会
参加町民数		26人	15人
出席議員		8人　　他　傍聴(6人)	7人　　他　傍聴(6人)
実施内容報告	議会報告	3月議会報告	
	意見交換会	特別テーマ「町の高齢者福祉と一人ひとりが輝くまちづくりについて」	—
要望・提言等		●手話をボランティアでしているが、交通費等自前なので、町から補助して欲しい。 ●家庭、職場、地域で、女性の自治会長等役員を選出できるよう側面から補助を。 ●富士桜・みつばつつじ祭への団体客が減ったので、チラシの撒きかたを検討してほしい。 ●小立福祉センターの新築の際、使う人の意見を取り入れてほしい。 ●環境問題で、ごみを処理する主婦の意識改革を進める。 ●ごみ置き場にゴミだし、分別の表示の告知板をブリキ等により作成し設置してほしい。 ●富士山の噴火などの場合、どこに行けばよいかわかるようにしてほしい。	●プレミアム商品券の町の発行を増やすことは? ●富士急のレトロバスが風穴を回るようにしてほしい。 ●湖畔の駐車場の整備をしてほしい。現地を見て対応を取る体制づくりをしてほしい。 ●レトロバスを精進湖、本栖湖へ回してほしい。 ●地域の商店、商工振興の利子補助金で、お金を借りやすいように。 ●国の地方創生基本法により、地域再生に補助金を使って、町の将来は町民の意見を網羅する。 ●10年後、20年後を見据えリニア駅と郡内を結ぶ道路の検討を。
		他たくさんの要望提言がありました。	

定例会
会計決算を審議

河口湖南中学校テニスコート

平成２７年第３回富士河口湖町議会定例会が9月15日に開会し会期を18日間と決めて10月2日に閉会しました。

本定例会に提出されました議案は、報告2件、条例等の制定8件、町道認定1件、請負契約締結1件、補正予算10件、同意案件7件、請願1件、決算認定３５件を審議し、すべて原案のとおり可決、承認されました。

平成２６年度一般会計及び３４の特別会計の決算認定について、議会選出の監査委員を除く17名の議員で構成された決算特別委員会を設置し、9月17日から28日まで審議しました。

一般質問は、２人の議員が登壇し、防災、福祉、環境、国保など8項目について質問しました。

本定例会において、渡辺凱保町長は療養中のため、職務代理者に副町長がなりました。

報　告

◆平成２６年度決算に基づく財政健全化判断比率等の報告

富士河口湖町	平成２６年度	平成２５年度	比　較	要　因
実質公債費比率	11.0%	12．1%	△1．1%	基準財政需要額への臨時財政対策債などの公債費の算入による。
将来負担比率	65．5%	77．3%	△11．8%	組合等負担見込み額が増加、公営企業への繰入と債務負担行為が減少し、財政調整基金への積立による。

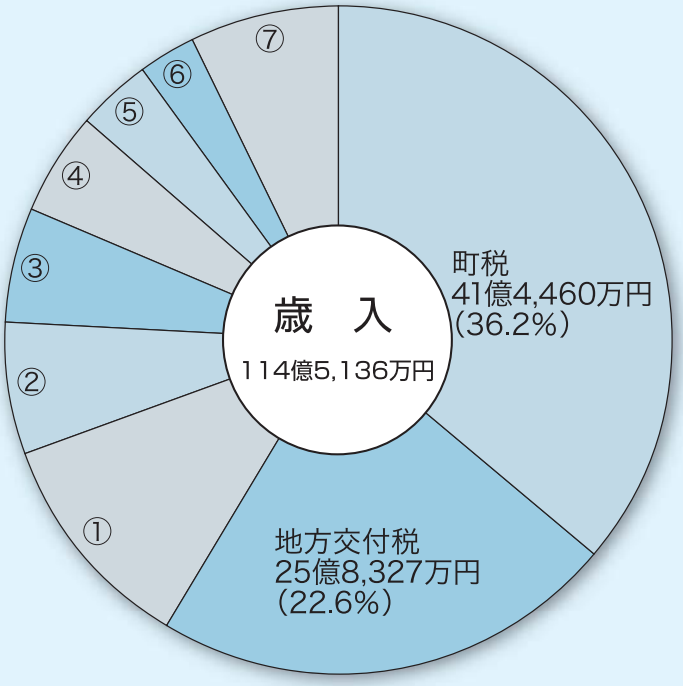
※実質公債比率とは、公債費（借金返済費用）を含む返済金合計がどれだけ財政に負担をかけているかを表す指標です。
※将来負担比率とは、自治体が将来支払う可能性がある負担合計が一般会計に占める比率です。

こういうことを決めました！

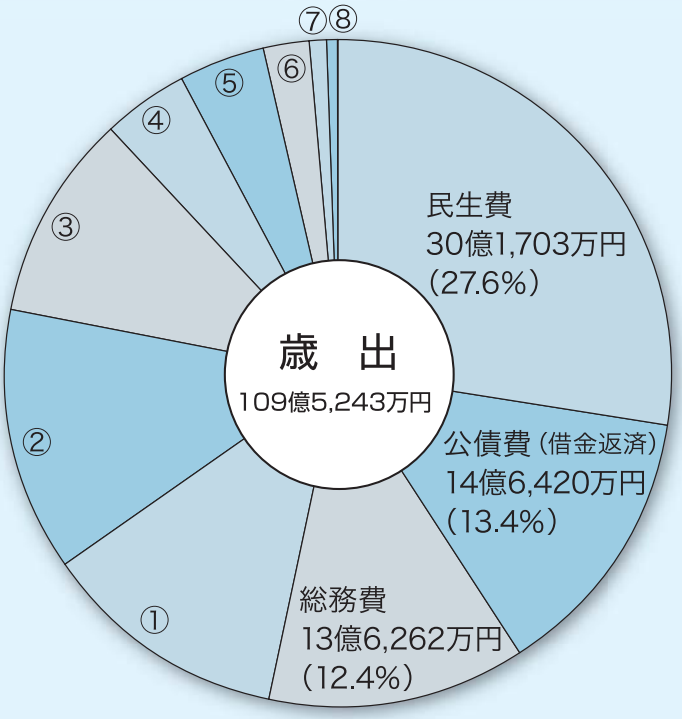
平成27年 第3回富士河口湖町議会
平成26年度一般

平成26年度　一般会計決算の内訳

①町債（町の借金）
　12億4,340万円（10.9%）
②国庫支出金（国の負担金や補助金など）
　7億3,139万円（6.4%）
③繰越金
　6億1,859万円（5.4%）
④県支出金（県の負担金や補助金など）
　5億8,892万円（5.1%）
⑤繰入金（基金、財産区などより）
　4億376万円（3.5%）
⑥地方消費税交付金
　3億2,700万円（2.9%）
⑦その他
　8億1,044万円（7.1%）



①衛生費
　13億3,799万円（12.2%）
②教育費
　13億9,042万円（12.7%）
③土木費
　10億8,535万円（9.9%）
④消防費
　4億6,525万円（4.3%）
⑤商工費
　4億5,967万円（4.2%）
⑥農林水産業費
　2億4,087万円（2.2%）
⑦議会費
　9,686万円（0.9%）
⑧諸支出金
　3,218万円（0.3%）



差引残額 4億9,893万円

平成27年 第3回定例会

補正予算……（10件）

◆平成27年度富士河口湖町一般会計補正予算（第7号）及び（第8号）

歳入歳出予算の総額に、補正予算第7号及び第8号併せて2億1,449万円をそれぞれに追加し、歳入歳出それぞれ総額**113億2,625万円**とする。

船津浜県営駐車場の視察

〈主な歳出〉

・公共施設建設基金積立金	8,600万円
・ふるさと応援寄付金謝礼	800万円
・山梨赤十字病院運営費補助金	9,385万円
・蝙蝠穴管理費	715万円
・道路新設改良事業費	1,740万円
・小学校振興備品購入費	1,565万円
・勝山中学校トイレ改修工事	1,600万円
・船津保育所建設委託料	2,268万円
・先導的官民連携支援事業委託料（県営駐車場調査）	1,490万円

◆その他、8の特別会計補正予算

町道路線の認定……（1件）

町道の路線認定について

- **路線番号**　9548号
- **路線名称**　9548号線
- **場　　所**　本栖字山道

請負契約締結……（1件）

小立福祉ゾーン改良造成工事請負契約について

- **契約の方法**　一般競争入札
- **契 約 金 額**　5,562万円
- **契約の相手**　㈱コバヤシ工業

条例等の制定……（8件）

①富士河口湖町特定個人情報保護条例
②富士河口湖町住民基本台帳カードの利用に関する条例を廃止する条例
③富士河口湖町印鑑条例の一部を改正する条例
④富士河口湖町手数料条例の一部を改正する条例
（①～④まで　マイナンバー法施行に伴う必要な条例改正を行う。）
⑤西湖いやしの里根場条例　　他3件

同意案件

船津財産区管理委員選任の同意
松浦 英明氏（船津）

大嵐財産区管理委員選任の同意
渡辺 昌二氏（大嵐）

※議員役職は13頁をご覧ください。

請　願……（1件）

◆30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願

- **請 願 者**　南都留地区ＰＴＡ協議会　会長　山本 美正　外3名
- **紹介議員**　中野 貴民　　渡辺 喜久男　　三浦 康夫
- **内　　容**　義務標準法が改正され、子どもにていねいな対応を行うためには、学級規模を引き下げる必要がある。また、授業時数や指導内容が増え、生徒指導への課題など特別な支援を必要としているので、地方交付税を含む国における教育予算の拡充を要望する請願。
- **審議結果**　全員賛成で採択

こういうことを決めました!

平成２７年臨時議会が、次のとおり開催され提出された議案を審議し原案どおり可決しました。

第3回 臨時議会〈7月3日開催〉 審議内容

請負契約締結2件、富士河口湖町温泉事業特別会計補正予算、一般会計補正予算

◆平成27年度 富士河口湖町一般会計補正予算(第4号)

・小立福祉センター解体工事請負費…… 475万円

第4回 臨時議会〈8月4日開催〉 審議内容

請負契約締結1件、西湖財産区特別会計補正予算、一般会計補正予算

◆平成27年度 富士河口湖町一般会計補正予算(第5号)

・道の駅管理工事請負費…… 170万円

・船津小学校建設基本計画作成費…… 2,170万円

第5回 臨時議会〈8月19日開催〉審議内容

指定管理者の指定1件、請負契約締結2件、財産取得1件、河口財産区特別会計補正予算、一般会計補正予算

◆平成27年度 富士河口湖町一般会計補正予算(第6号)

・精進活性化センター誘導看板設置工事請負費…… 245万円

◆指定管理者の指定

・管理を行わせる公の施設の名称　富士ヶ嶺バイオセンター

・指定管理者として指定する団体　鷹取建材(株)

各臨時議会における請負契約等の内容

内容／臨時議会	契約名または契約目的	契約金額(万円)	契 約 の 相 手
第 3 回	新御坂配水池築造工事(土木・設備工事)請負契約	1億8,090	宮下組・フジコンストラクト新御坂配水池築造工事(土木・設備工事)共同企業体
	新御坂配水池築造工事(電気・計装設備工事)請負契約	6,296	井出電気(株)
第 4 回	小立福祉センター新築工事請負契約	1億5,660	コバヤシ工業・塩沢建設小立福祉センター新築工事共同企業体
第 5 回	消防ポンプ車(M-IA型水槽付消防ポンプ自動車)	3,259	㈲井出デバリ商店
	本栖湖青少年スポーツセンターグラウンド整備工事請負契約	1億7,798	コバヤシ工業・フジコンストラクト本栖湖青少年スポーツセンターグラウンド整備工事共同企業体
	本栖地区地域し尿処理施設更新工事請負変更契約	当初 4,644 2回目 5,275	㈱コバヤシ工業

委員会レポート

決算特別委員会の審議状況を報告します。

窓口業務受託料は

質問 Q 日本郵便株式会社の株式上場により、小立及び富士ケ嶺簡易郵便局の窓口業務受託料は変わらないか。

答弁 A **総務課長** 今のところ、それに関する通達はない。

特定健診の受診率は

質問 Q 特定健康診査の予算が前年度と比べ増えているが受診率は。

答弁 A **住民課長** 特定健康診査の対象者は40歳から74歳まで。25年度の対象者5420名、受診者1610名で受診率は29・7%。26年度は対象者5351名、受診者1600名で受診率は29・9%。前年度比プラス0・2%になる。

質問 Q 受診率向上のための取り組みは。

答弁 A **住民課長** 対象者には、3月末に健診内容と申込書を送付。受診申し込みのない60歳から74歳の対象者には、再度9月頃送付するほか広報、ホームページで周知を図る。

医療費の一部負担金の減免要綱は

質問 Q 医療費の一部負担金の減免要綱ができたと聞くが、その内容は。

答弁 A **住民課長** 富士河口湖町国民健康保険一部負担金の減免及び徴収猶予に関する要綱の概要は、災害や事業の休廃止などにより生活が著しく困窮し、窓口など一部負担金の支払いが困難であるとき、一部負担金の減免または猶予ができる制度で、内容等は既に広報7月号に掲載済みだが、今後もホームページ等で周知を図る。

介護保険料の低収入者への減免制度の拡充は

質問 Q 介護保険料の低収入者の減免制度の拡充が必要ではないか。

答弁 A **健康増進課長** 町単独での減免制度はなかなか難しい部分がある。国の制度として、一部の方の引き下げを実施している。消費税率10%への引き上げが行われる予定の平成29年4月からは、さらなる引き下げをする予定。

介護保険事業計画の目指していることは何か

質問 Q 介護保険事業計画の3年後の見直しを平成26年度に実施したが、目指していることは何か。

答弁 A **健康増進課長** 在宅サービス、施設サービス、地域密着型サービス、被保険者の増加、介護度がどれくらい重くなるのか等を数値的に集計して保険料を算出し、これらの事業計画に基づいて実施。

水道料は、赤字との理解でよいか

質問 Q 平成25年4月より水道料の値上げを行ったが、赤字が続いているとの理解でよいか。

答弁 A **水道課長** 水道料金の改定は、3年ごとの見直しということで、現在見直しをしているが、依然赤字が続いており、料金改定は必要に思う。

決算特別委員会

コミュニティーFMの出力を上げることができないか

質問Q コミュニティーFMは、聞こえにくくなるという声がある。出力を上げることができないか。

答弁A **政策財政課長** 町でも承知はしているが、総務省のコミュニティーFM放送局の規定により、現行ではこれ以上のものはできない。

町民福祉館ふじやまの断熱性は

質問Q 当初の計画は断熱性を高めたものであったが、実際にでき上がった建物の断熱性は。

答弁A **福祉推進課長** 二枚ガラスでいきたいという考えはあったが、費用的な部分から削られている。

激増する外国人に対する対策は

質問Q 外国人誘客のツールとして、観光PRのDVDが作成されているがこの配布先は。

答弁A **観光課長** 海外キャラバンや旅行会社、国内の観光展などで配布している。

質問Q 観光連盟への委託費の内容は。

答弁A **観光課長** 町の総合パンフレットの作成委託や観光ガイドの支援、首都圏への情報発信、写真コンテストの実施委託、外国宣伝のツールの作成など総合して1708万円。

外国人観光客

雨水対策は

質問Q どのように進めているのか。

答弁A **都市整備課長** 雨水対策は調査結果に基づきながら、町民要望のあった冠水箇所の把握、状況確認の上、優先順位も検討しながら対応している。

道路の冠水状況

質問Q 維持管理費等が削減される街灯のLED化を。

答弁A **都市整備課長** 単年度ごとに何基か購入するのか、一括リース方式にするのか今後検討したい。

小中学校の統合状況は

質問Q 平成26年度の予定はどのような話し合いが持たれたか。また、話し合いの内容は公開できないか。

答弁A **教育長** 小学校統合は、県からも基準が出されているが、地域のいろんな感情、問題も出てきている。学校統合を進めるに当たっては、教育的な観点を前面に出しながら進めていきたい。中学校統合は今年度をもって西浜中学校を統合するという話になっている。教育委員会の会議の公開は、考えていきたい。

決算特別委員会

くぬぎ平のサッカー場の有効利用を

質問 Q くぬぎ平のサッカー場の稼働状況と管理費は。

答弁 A **生涯学習課長**　くぬぎ平のサッカー場の整備に関する維持管理は400万円かかっている。サッカー場の利用者は、平成25年度が8470人、平成26年度は1万1780人。

くぬぎ平サッカー場

特別支援教育の充実

質問 Q 平成26年度は、支援員を16名配置したとのことだが。

答弁 A **学校教育課長**　支援員については、各学年のクラスに特別支援の子がいるので、その子供の支援ということで各学校に配置している。

林作基金助成事業は

質問 Q 林作基金文化活動事業は、林作基金の高額利子を原資に事業がなりたっていたが、年々利率が下がり平成26年度事業は、一般財源で約64％負担するに至った。負担額が増加するなら、事業名を変える。一般財源投入がわかる予算組みをする。または林作基金の元本を取り崩し、事業助成を行うなど検討を。

答弁 A **文化振興局長**　この事業は平成7年旧河口湖町の時代から続いており、今年21年目を迎える。この事業を通して、それぞれの団体がいろいろな活発な事業を行い、地域づくりに貢献している。財政当局と協議し方向をだしていく。

総括質疑

町の財源状況は

質問 Q 自主財源と依存財源の比率についてどのように考えているか。

答弁 A **政策財政課長**　できる限り自主財源確保に努めていくことが、我々公務員の使命と考える。

指定管理者制度は

質問 Q ステラシアターの指定管理移行への進捗状況は。

答弁 A **文化振興局長**　ステラシアター、円形ホール共に20年を超える施設であり、老朽化が著しい。現時点では、施設の修繕・設備改修を先に行う必要がある。

要望 施設の修繕・設備改修も理解できるが、500万円程度の収入で年間8000万円も支出しているようでは困る。早期の取り組みを願う。

一般質問者
佐藤 安子

災害時の要支援者避難体制の整備を

質問 Q 避難行動要支援者全員を記入した名簿の作成が義務づけられている。名簿作成と当事者に平常時関係者が名簿を共有していることへの同意は得ているのか。また、関係者へ名簿は提供しているのか。要支援者は誰が支援に来てくれるのか心配している。

答弁 A **総務課長** 災害時要援護者台帳として整備し、データ管理を行っている。同意確認は7割近くから得ていて、関係者への情報提供については、民生員に行っている。現在の台帳をもとに個別支援計画作成に取り組む状況にある。

不育症治療助成で少子化対策を

質問 Q 妊娠しても流産や死産を繰り返す不育症は、治療やカウンセリングにより85％以上は妊娠に至る。県も支援体制を整えた。町も少子化対策の拡充として不育症治療助成を検討すべき。

答弁 A **副町長** 不育症支援は、重要な少子化対策の一つで、治療費の助成の実施は、不妊治療への助成と分け隔てなく実施すべきと考える。

健康増進課長 男性の不妊治療、第2子への不妊治療の助成と限度額の見直しなど少子化対策を図りたい。

住民参加型在宅福祉サービスの事業展開を

質問 Q 少子高齢化社会の中で、同じ町で暮らす住民同士が、助けられたり助けたりのお互い様を大切にする有償ボランティアの制度を展開すべき。

答弁 A **健康増進課長** 町では人材育成に加えて、サービスの担い手となってもらうための意識づけや登録制度の確立、既存の育成された人材を有効に活用する活動の場の提供、地域特性を踏まえたサービスの構築を目指している。

生ごみ減量作戦は行政と町民の協働事業で

質問 Q 行政と町民と協働で推進しているEM発酵ボカシはより多くの人に購入していただけるように販売箇所の追加と家庭で処理できないEM発酵ボカシ生ごみを回収してもらえないか。

答弁 A **環境課長** ごみ減量工房の設備整備と材料調達、製造手伝いと販売を職員が担当し、ボランティアには製造と袋詰めを担当していただいている。環境課と船津リサイクルセンターと上九一色、足和田、9月からは勝山の各出張所で販売。河口と大石出張所は要望があれば届ける。製造は2ヵ月の期間がかかり製造量には限度があるため現状のままとしたい。堆肥化した生ごみの利活用は、農林課の実験農場で利用もできるので、具体的な要望があれば早期に対応したい。

EM発酵ボカシの乾燥

一般質問

一般質問

ひとり親世帯への経済的支援の強化を

質問 Q ひとり親世帯の貧困率は54.6%にものぼる。母子世帯の親の就業率は8割なのに、平均就労収入は年額181万円、月額にすれば約15万円にとどまる。町としてひとり親家庭の医療費無料など行っているが、さらなる経済的支援の強化を。たとえば、廃止された県のひとり親家庭小中学校入進学支度金の支給を、町で実施を。

答弁 A **副町長** 保育料の減免や放課後児童クラブの改善なども行っている。支度金支給は、家庭の実情や必要性の有無について十分把握したうえで検討していく。

一般質問者
山下 利夫

困難を抱える子育て世帯により効果的な支援を

質問 Q 子どもが十分に食事を取れていない、夜も子どもだけで過ごすことを余儀なくされる、など、困難を抱える子育て世帯にさらなる効果的な支援を。特に、現在行っているひとり親世帯へのヘルパー派遣などと合わせて、国も補助などを検討している子どもたちの「居場所」づくりについて、当町でも検討を。

答弁 A **福祉推進課長** 現在、町で子どもの養育支援を行っている世帯は250件ほどある。ヘルパー派遣は、ひとり親世帯に限らず、必要と判断した場合には対応している。

生涯学習課長 子どもたちの「居場所」づくりを具体的に検討していく。

重度障害児の医療費窓口無料の復活を

質問 Q 重度障害者の医療費助成が窓口無料から償還払いに変更になった。このため、重度障害を持つ子どもと保護者は、診察後に会計のために待っていなければならなくなった。当町では中3までの子どもは窓口無料であり、公平性を欠く事態となっている。最近、重度障害児も子どもの医療費窓口無料の対象とする方針を、甲斐市や上野原市などで決めた。当町でも検討を。

答弁 A **副町長** 当事者のみなさんのご意見を拝聴すると、窓口無料から一時払いに移行したことで、大変不便になり、子どもや保護者に相当負担がかかっている実情がわかった。従来から県に窓口無料の復活を求めてきたが、実現にいたっていないため、中学生までの重度障害児を対象とした窓口無料制度への見直しを検討すべきと考えている。

国の財政支援を活用して国保税の引き下げを

質問 Q 国は、全国の市町村の国保会計に、新たに1700億円の財政支援を行った。その一部は低所得者軽減に充てられているが、これらすべてを活用して、国保税の引き下げを。

答弁 A **住民課長** 被保険者数の減少などにより国保税収入は減少し、一方で医療費はほぼ横ばいであり、国保税の引き下げは困難である。

議会の委員会の構成が変わりました

9月定例会で改選が行われ、委員会などの委員が新しくなりました。

◎委員長　○副委員長　　2015年10月16日現在

【議　長】　梶原　武	【副議長】　渡辺　美雄				
総務常任委員会委員	◎小佐野　快 外川　正純	○渡辺　武則 三浦　康夫	渡辺　美雄 駒谷　隆利	佐藤　安子	井出　總一
文教社会常任委員会委員	◎井出　正広 外川　正純	○渡辺　元春 三浦　康夫	渡辺　武則	山下　利夫	佐藤　安子
産経土木常任委員会委員	◎髙山　泰治 梶原　武	○渡辺　美雄 倉沢　鶴義	中野　貴民	山下　利夫	堀内　昭登
議会広報常任委員会委員	◎渡辺　元春 小佐野　快	○山下　利夫 堀内　昭登	渡辺　武則 井出　總一	渡辺　美雄 駒谷　隆利	井出　正広
議会運営委員会委員	◎外川　正純 駒谷　隆利	渡辺　武則 倉沢　鶴義	井出　正広	小佐野　快	髙山　泰治
監査委員	堀内　昭登				
富士五湖広域行政事務組合議会議員	渡辺　美雄	三浦　康夫	倉沢　鶴義		
青木ヶ原衛生センター議会議員	渡辺　武則 小佐野　快	渡辺　美雄 堀内　昭登	中野　貴民 渡辺　元春	井出　正広 三浦　康夫	山下　利夫
鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合議会議員	渡辺　美雄 外川　正純	中野　貴民 倉沢　鶴義	井出　正広	梶原　武	井出　總一
河口湖南中学校組合議会議員	渡辺　美雄 渡辺　元春	中野　貴民 外川　正純	井出　正広	梶原　武	井出　總一
農業委員会委員	中野　貴民				
船津財産区管理会委員	中野　貴民				
小立財産区管理会委員	渡辺　元春	外川　正純			
青木ヶ原外七字及び小合山外七字恩賜県有財産保護財産区管理会委員	渡辺　武則				
河口湖治水委員会委員	渡辺　美雄 渡辺　元春	山下　利夫 三浦　康夫	小佐野　快 髙山　泰治	堀内　昭登 駒谷　隆利	井出　總一 倉沢　鶴義
消防委員会委員	中野　貴民	小佐野　快	外川　正純	駒谷　隆利	
都市計画審議会委員	井出　總一	髙山　泰治	倉沢　鶴義		
国民健康保険運営協議会委員	渡辺　武則	中野　貴民	梶原　武	外川　正純	三浦　康夫
介護保険運営協議会委員	井出　正広	佐藤　安子	外川　正純		
地下水保全審議会委員	渡辺　元春	三浦　康夫			
温泉事業運営審議会委員	渡辺　武則	井出　總一	渡辺　元春		
公共下水道審議会委員	渡辺　美雄	小佐野　快	梶原　武	三浦　康夫	
山梨赤十字病院運営協議会委員	井出　總一	三浦　康夫	駒谷　隆利	倉沢　鶴義	
地域審議会委員	渡辺　武則 渡辺　元春	山下　利夫 三浦　康夫	佐藤　安子 倉沢　鶴義	小佐野　快	堀内　昭登

ふじかわぐちこ 窓

第14回全日本ホルスタイン共進会北海道大会（全日本ホルスタイングランプリ2015）

ホルスタイン山梨会長
江野澤　伸一

私達の暮らす富士ケ嶺地区は、戦後の食糧増産と失業者や復員軍人等の救済をはかるべく一大国策として、国が推奨した緊急開拓事業による開拓地です。

開拓一世が初めてこの地に鍬を打ち下してから来年で70年の歳月が流れようとしています。私は開拓の三世として酪農を営んでおります。先人達の血のにじむような努力により今では県内最大の酪農地帯へと繁栄し、乳牛飼養頭数は２５００頭を超えています。

そんな酪農業界において「乳牛共進会」と言う酪農振興を図り、乳牛の機能的な体型と資質の優劣を競い合う品評会が全国各地で開催されています。

山梨県でも毎年秋に「山梨県ホルスタイン共進会」が開催されており、昨年までに58回を数えました。その共進会の全国大会で５年に１度行われる「全日本ホルスタイン共進会」が今年10月北海道で開催されます。「全日本ホルスタイン共進会」通称「全共」は乳牛のオリンピックと言われており、北は北海道から南は沖縄まで各都道府県の予選大会を勝ち抜いた精鋭４００頭が一堂に集まる酪農業界最大のイベントです。第１回は昭和26年に神奈川県平塚市で行われ今年で64年目となる歴史ある共進会です。

その「全共」に山梨県からは３頭の出場枠がありますが、当町富士ケ嶺地区から３頭のホルスタインが県代表として「北海道全共」へと向かいます。町からも補助金を頂き、県の代表として「北海道全共」へと挑戦してきます。

これまでご支援いただいた県議さん、町長さん、町議さん、町役場農林課の皆さん、そして町民の皆さんに良い報告ができます様、富士河口湖町産ホルスタインをアピールし頑張って来ます。

富士ヶ嶺地区の仲間達

議会 見・聞・録

9月15日の町議会で生まれて始めて傍聴、というものをした。自分は河口湖で生まれ育った者だが、今まで自分の生活と政治が交錯することはなく、なんとなくテレビでオジサンたちがワイワイやっている世界、という認識しかなかった。

が、そんな私でさえも日々メディアで取り上げられる国会でのデモ、周囲の私と同じような普通の人が声をあげているのを見るにつれ、今まで自分の中で眠っていた何かがムクムク起き始めてきた。

そうなると行動せずにはいられなくなってきた。

6月の河口湖の議会で、安保法案の慎重審議を求める意見書提出の請願が否決された、とニュースで知った。大衆の意見と逆行している議会とはどんなところだろう、と見たくなったので、町のホームページで傍聴の方法を調べて役場の2階にある町の議場に行ってみた。

その日の傍聴人は私しかいなかったが、目の前にはテレビでみるような議会風景が広がっており、傍聴の経験は思いのほか楽しかった。周りの友人や知り合いに話したら、案外皆も心の底では関心は持っていて、その中の幾人かとは、次の議会には傍聴してみよう、という話にもなった。

議会に行ってみて今まで食わず嫌いで、政治に無関心だった自分を反省し、これからはどんどん町民の立場から政治に参加していこうと思った。

（船津 井出幸亜）

議会を傍聴しませんか？　次の定例会は12月です

編集後記

富士山の冠雪、回りの木々も色づき、紅葉まつりがスタートする「秋真っただ中」です。

9月中旬～10月初旬に「第3回定例議会」が開かれ、それをコンパクトにまとめた「議会だより」をお届けします。

編集委員もこの9月改編され、町民の皆さんに、議会のことをよりわかりやすく伝え、読んで頂く「議会だより」と、9名が議論し、頑張って編集してまいりました。

町民の意見及び政策等を町政に反映させるため、議会と町の各組織との意見交換会も行い始め、議会改革の新しい活動もはじまりました。議会だより編集についても皆様の意見を頂きたいと思います。

（渡辺元春　記）

●議会広報常任委員会
委員長　渡辺　元春
副委員長　山下　利夫
委員　渡辺　武則
渡辺　美雄
井出　正広
小佐野　快
堀内　昭登
井出　總一
駒谷　隆利

議会だより
ふじかわぐちこ 2015.11 Vol.48
発行：富士河口湖町議会　編集：議会広報常任委員会
〒401－0392 富士河口湖町船津1700　TEL 0555-72-3167